

大阪河崎リハビリテーション大学の学生及び保護者各位

拝啓

日頃から本学の教学運営に多大なるご尽力をいただいておりますことに御礼申し上げます。おかげさまで、大阪河崎リハビリテーション大学の学生たちはコロナ禍の中にあっても、一人の感染者を出すこともなく、学生生活を送っております。

本年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により世界中の経済・社会活動が大打撃を受けています。世界の感染者は5千万人を超え、死者数も125万人を超えました。わが国においても累計感染者数は10万人を超えてしまい、冬季を迎えて感染者の増加が見込まれています。

本学もコロナ禍のために大きな影響を受けましたが、教学継続の努力においては、他の大規模校と比較しても頑張ってきたのではないかと考えています。本学では、4月と5月は緊急事態宣言が出されたこともあり遠隔授業といたしました。リハビリ系大学の中では最も早い時期となる6月の第一週から段階的に対面授業を始め、6月の第三週からは通常の対面授業を始めました。そして9月下旬には2週間遅れで前期の授業を無事に終了しました。おかげさまで、最短期間の遅れで、学外実習も無事に終了することができました。これもひとえに本学学生さん、保護者の皆様、関係機関の方々のご協力のおかげと感謝しています。

後期授業は、いつ第三波が来る事態となっても速やかに対応できるような時間割に組み替えたうえで、9月からの後期授業は全て対面授業で開始しました。これは冬季に予想される感染拡大に対応できるようにとの準備でした。

昨今の大阪府下での感染者の増加傾向を見ますと、いよいよ感染拡大の第三波が到来するものと予測せざるを得ません。そのようなことから、本学では、感染拡大防止措置の一つとして、本年11月30日(月曜日)から対面授業と遠隔授業を組み合わせたハイブリッド型授業へと移行することを決定いたしましたのでお知らせいたします。これまで本学では学生の感染者を一人も出すことなく運営してきましたが、今回の決定は、なんとか感染者を出すことなく後期授業を運営していきたいとの苦渋の決定でありますことをご理解ください。

本学では「新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する行動指針」を取り決めて、ホームページ上に公表しており、現在はレベル2で運用しております。冬季の感染拡大が予想される中ではありますが、レベル2を維持したままで11月30日から対面授業と遠隔授業を組み合わせたハイブリッド型の授業に移行させていただきます。もちろん今まで以上に教職員、学生と協力して、感染拡大防止に一層の措置をして教学運営をしていきたいと思っておりますのでご理解のほどお願いいたします。

本学4年生の学生諸君には、12月、1月には卒業試験、2月には国家試験が予定されており、人生で最も集中して勉強する時期となります。第23回言語聴覚士国家試験は令和3年2月20日(土)、第56回理学療法士及び作業療法士国家試験は令和3年2月21日(日)の予定です。あと3か月余りの期間となりますが、コロナ禍の中にあっても、感染拡大防止に万全の措置を講じつつ、国家試験合格を目指して最後の勉学に励んでほしいと思っています。ご家庭におかれましてもお子様への一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

敬具

大阪河崎リハビリテーション大学学長  
武田雅俊